

## 平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 大崎エンジニアリング株式会社

コード番号 6259 URL <http://www.oec-inc.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 夢田治夫

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役事業管理本部長 (氏名) 小野茂昭

TEL 04-2934-3411

四半期報告書提出予定日 平成25年11月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	891	26.5	△206	—	△197	—	△434	—
25年3月期第2四半期	704	△34.7	△251	—	△244	—	△280	—

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 △432百万円 (—%) 25年3月期第2四半期 △284百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	△8,409.88	—
25年3月期第2四半期	△5,435.20	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	6,732	6,336	94.1	122,623.35
25年3月期	7,312	6,820	93.3	131,987.82

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 6,336百万円 25年3月期 6,820百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	1,000.00	1,000.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	500.00	500.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,500	63.8	△140	—	△120	—	△360	—	△6,966.89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期2Q	51,673 株	25年3月期	51,673 株
----------	----------	--------	----------

② 期末自己株式数

26年3月期2Q	— 株	25年3月期	— 株
----------	-----	--------	-----

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	51,673 株	25年3月期2Q	51,673 株
----------	----------	----------	----------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されております業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、リスクや不確実な要素を含んでおり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があることをご承知おください。なお、上記予想に関する事項は、【添付資料】P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## 【添付資料】

## 目次

	頁
1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	5
4. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、政府によるデフレ脱却のための施策や日本銀行による金融政策の効果などにより、景気を持ち直しへの期待感が徐々に高まる状況で推移いたしました。

また、世界の景気につきましては、米国の財政問題や新興国における成長鈍化に対する懸念などもあり、依然として先行きの見通しが困難な状況で推移いたしました。

一方、当社グループの主要顧客が属するデジタル家電業界やLED照明業界などにおきましても、一部に設備投資回復の兆しがみえているものの、新規の設備投資が引き続き抑制される状況で推移いたしました。

このような状況の下、当社グループは、タブレットやスマートフォンに使用される中小型フラットパネルディスプレイ関連などの他に、リチウムイオン電池やLED照明などのエネルギー・照明関連市場向け製品等の組立装置の受注活動に積極的に注力してまいりました。

なお、当社グループは、市場環境の変化と今後の成長市場への注力を狙いに、従来の「FPD関連装置」と「半導体関連装置他」の二つの製品区分を、「センサーデバイス・高機能デバイス関連装置」、「エネルギー・照明関連装置他」及び「FPD関連装置」の三つの製品区分に変更して事業活動を推進してまいります。

(旧製品区分と新製品区分による売上高)

(単位：百万円)

	製品区分	前第2四半期 連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	前連結会計年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)	備考
旧製品区分	FPD関連装置	294	—	405	タッチパネル等はFPD関連に含む
	半導体関連装置他	410	—	1,120	
	合計	704	—	1,525	
新製品区分	センサーデバイス・高機能デバイス関連装置	359	42	736	タッチパネル等はセンサーデバイス関連に含む
	エネルギー・照明関連装置他	51	448	431	
	FPD関連装置	294	399	358	
	合計	704	891	1,525	

当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は、8億9千1百万円（前年同四半期比26.5%増）となりました。

これを製品別にみますとセンサーデバイス・高機能デバイス関連装置では4千2百万円（前年同四半期比88.1%減）、エネルギー・照明関連装置他では4億4千8百万円（前年同四半期比774.6%増）、FPD関連装置では3億9千9百万円（前年同四半期比36.0%増）となりました。

利益面におきましては、新規ジャンルのテーマに位置づけておりますエネルギー・照明関連装置他において、開発要素の多い原価が含まれていたことや売上高の減少による固定費の回収不足の影響により、営業損失は2億6百万円（前年同四半期は営業損失2億5千1百万円）、経常損失は1億9千7百万円（前年同四半期は経常損失2億4千4百万円）となりました。また、特別損失に固定資産の減損損失2億3千6百万円を計上したこと等により、四半期純損失は4億3千4百万円（前年同四半期は四半期純損失2億8千万円）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当社グループの当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて5億7千9百万円減少し、67億3千2百万円となりました。その主な内訳は、現金及び預金の減少18億4千万円、受取手形及び売掛金の減少2億4千4百万円、たな棚卸資産の減少2億8百万円、関係会社短期貸付金の増加20億円、減損損失の計上等による固定資産の減少2億4千8百万円であります。負債につきましては、前連結会計年度末に比べて9千5百万円減少し3億9千6百万円となりました。その主な内訳は、支払手形及び買掛金の減少1億5百万円でありませぬ。純資産は前連結会計年度末に比べて4億8千3百万円減少の63億3千6百万円となりました。なお、自己資本比率は前連結会計年度末の93.3%から94.1%へと増加しております。

## (キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物残高は、前連結会計年度末に比べて18億4千万円減少し、20億3千万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における、各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純損失4億3千2百万円となったものの、減損損失の計上2億3千6百万円、売上債権の減少2億4千4百万円、たな卸資産の減少2億8百万円、仕入債務の減少1億5百万円等により、2億2千9百万円の獲得（前年同四半期は6億5千8百万円の獲得）となりました。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出1千4百万円、貸付けによる支出20億円等により、20億1千6百万円の支出（前年同四半期は1千3百万円の支出）となりました。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払による支出5千1百万円等により、5千3百万円の支出（前年同四半期は5千4百万円の支出）となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期通期の連結業績予想につきましては、平成25年5月7日の決算短信で公表いたしました連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日（平成25年10月31日）公表の「平成26年3月期第2四半期連結業績予想と実績との差異及び通期連結業績予想の修正並びに配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

## (4) 追加情報

## (株式分割、単元株制度の採用及び定款の一部変更)

当社は、平成25年5月22日開催の取締役会において、株式分割、単元株制度の採用及び定款の一部変更について決議いたしました。

## 1. 株式分割、単元株制度の採用及び定款の一部変更の目的

平成19年11月27日に全国証券取引所が公表した「売買単位の集約に向けた行動計画」の趣旨に鑑み、平成26年4月1日を効力発生日として、1株を100株に分割するとともに、1単元の株式の数を100とする単元株制度を採用いたします。

## 2. 株式分割の概要

## (1) 分割の方法

平成26年3月31日を基準日として、同日最終の株主名簿に記載された株主の所有普通株式1株につき、100株の割合をもって分割いたします。

## (2) 分割により増加する株式数

平成26年3月31日の最終の発行済株式総数に99を乗じた株式数といたします。

株式分割前の当社発行済株式総数	51,673株
今回の分割により増加する株式数	5,115,627株
株式分割後の当社発行済株式総数	5,167,300株
株式分割後の発行可能株式総数	15,120,000株

## (3) 分割の日程

基準日の公告日	平成26年3月14日
基準日	平成26年3月31日
効力発生日	平成26年4月1日

## 3. 単元株制度の採用

## (1) 新設する単元株式の数

単元株制度を採用し、単元株式数を100株とします。

## (2) 新設の日程

効力発生日	平成26年4月1日
-------	-----------

## 4. 資本金の額の変更

今回の株式分割に際しまして、資本金の額の変更はありません。

## 5. 1株当たり情報に及ぼす影響

当該株式分割が前期首に行われたと仮定した場合の前第2四半期連結累計期間における1株当たり情報及び当期首に行われたと仮定した場合の当第2四半期連結累計期間における1株当たり情報は、それぞれ以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
1株当たり四半期純損失金額(△)	△54円35銭	△84円10銭

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、前連結会計年度及び当第2四半期連結累計期間において、継続的な営業損失、経常損失、四半期(当期)純損失を計上しております。これにより、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しております。しかしながら、当該事象又は状況を解消するためLED照明関連やリチウムイオン電池関連などの新規分野での受注活動を推進しつつ、損益の改善に努めていること並びに当第2四半期連結会計期間において有利子負債はなく、十分な現金及び預金残高があり、資金繰り懸念もないこと及び当第2四半期連結会計期間末現在において純資産残高63億3千6百万円、自己資本比率94.1%と十分な財務体質の基盤を有することから、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断しております。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,870,795	2,030,512
受取手形及び売掛金	813,612	569,574
仕掛品	588,853	384,243
原材料	13,228	9,654
関係会社短期貸付金	—	2,000,000
その他	50,529	11,955
貸倒引当金	△800	△500
流動資産合計	5,336,218	5,005,440
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	879,799	857,482
土地	1,013,925	828,782
建設仮勘定	12,847	5,719
その他（純額）	31,684	0
有形固定資産合計	1,938,256	1,691,984
無形固定資産	6,266	—
投資その他の資産	31,312	35,544
固定資産合計	1,975,835	1,727,528
資産合計	7,312,054	6,732,968



(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	280,591	175,093
未払法人税等	7,713	5,673
未払消費税等	2,466	24,045
賞与引当金	33,623	44,600
製品保証引当金	16,784	18,841
その他	68,175	40,563
流動負債合計	409,355	308,817
固定負債		
役員退職慰労引当金	79,449	85,479
その他	3,043	2,355
固定負債合計	82,492	87,834
負債合計	491,847	396,652
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,684,420	1,684,420
資本剰余金	1,597,920	1,597,920
利益剰余金	3,541,840	3,055,603
株主資本合計	6,824,180	6,337,943
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△3,973	△1,627
その他の包括利益累計額合計	△3,973	△1,627
純資産合計	6,820,206	6,336,316
負債純資産合計	7,312,054	6,732,968

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	704,774	891,757
売上原価	736,650	867,064
売上総利益又は売上総損失(△)	△31,876	24,692
販売費及び一般管理費	220,055	231,007
営業損失(△)	△251,932	△206,314
営業外収益		
受取利息	1,086	4,146
受取地代家賃	1,338	2,589
その他	4,889	2,409
営業外収益合計	7,314	9,145
経常損失(△)	△244,618	△197,169
特別利益		
ゴルフ会員権売却益	—	1,190
特別利益合計	—	1,190
特別損失		
減損損失	—	236,202
特別損失合計	—	236,202
税金等調整前四半期純損失(△)	△244,618	△432,181
法人税、住民税及び事業税	2,363	2,382
法人税等調整額	33,871	—
法人税等合計	36,234	2,382
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△280,853	△434,563
四半期純損失(△)	△280,853	△434,563

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△280,853	△434,563
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,312	2,346
その他の包括利益合計	△3,312	2,346
四半期包括利益	△284,165	△432,217
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△284,165	△432,217
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失(△)	△244,618	△432,181
減価償却費	37,660	31,948
減損損失	—	236,202
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△14,200	△300
賞与引当金の増減額(△は減少)	15,551	10,977
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△3,370	2,056
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△28,671	6,030
受取利息及び受取配当金	△1,237	△4,323
売上債権の増減額(△は増加)	1,087,716	244,038
たな卸資産の増減額(△は増加)	△247,502	208,184
仕入債務の増減額(△は減少)	115,463	△105,497
その他	△55,526	31,992
小計	661,264	229,126
利息及び配当金の受取額	1,111	4,323
法人税等の支払額	△4,018	△4,169
営業活動によるキャッシュ・フロー	658,358	229,280
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△10,326	△14,968
投資有価証券の取得による支出	△738	△761
貸付けによる支出	—	△2,000,000
その他	△2,883	△802
投資活動によるキャッシュ・フロー	△13,948	△2,016,532
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	△52,786	△51,802
その他	△1,413	△1,229
財務活動によるキャッシュ・フロー	△54,199	△53,031
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	590,209	△1,840,282
現金及び現金同等物の期首残高	3,623,238	3,870,795
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,213,448	2,030,512

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、ファインピッチ実装技術を核とした製造装置等を開発・製造・販売する事業のみの単一セグメントとなりますため、記載を省略しております。

以 上